はとやま 議会だより



安心して暮らし続けるために・・・
在宅介護の司令塔　笑顔のケアマネさん

埼玉県鳩山町議会発行

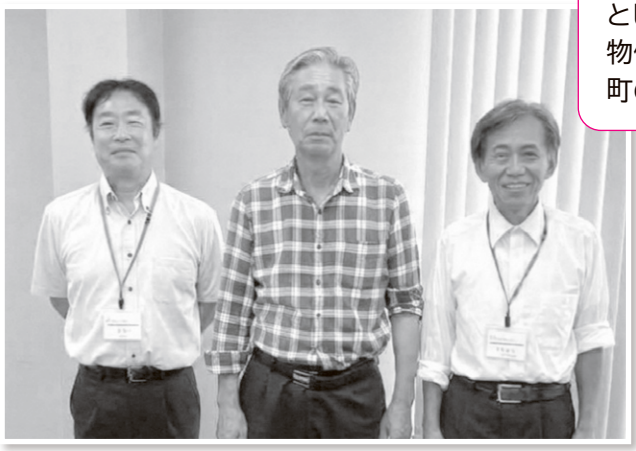
No.174
2026.11.1発行

● 令和７年度決算
決算評価 …… 2～3ページ
● ９月定例会報告
審議 …… 4～5ページ
議員定数削減 …… 6ページ
意見書を国へ提出 …… 7ページ
審議結果 …… 8ページ
町政を問う！一般質問 ……9～13ページ
● 常任委員会レポート ……14ページ
● 一部事務組合議会報告 ……15ページ
● いま、それ気になるHATOYAMA vol.12
「鳩山町のケアマネジャーさんに伺いました
～鳩山町の介護の現状と課題について～」…… 16ページ

有効に使われましたか？
聞いてみました～



商工会の皆さん（写真左から）
戸田さん、根岸会長、伊藤事務局長↓



商工振興費：商工会は町の活性化に役立つ活動の一環として、納涼夏まつり開催時に花火を打ち上げています。物価高騰の折、打ち上げ費用が厳しいため、より一層の町の支援をお願いします。

「NPO法人里山環境プロジェクト・はとやま」
会員の仲間（中央が大坂 愃さん）↓



全町公園化推進費：石坂の森の自然環境保全のため、ナラ枯れ対策等の樹木の整備を行い、最近はネイチャープレイパークなどに積極的に取り組み中。予算が少なく、石坂の森の将来が不安です。（大坂）

鳩山の農業を支える方々（下の写真左から）
紫藤さん（泉井営農副組合長）
中澤さん（泉井営農組合長）
関口さん（農事組合法人泉井営農代表）



農業振興費：水稲栽培では、高齢化・労働力不足のため、省力化が必要不可欠。そこで、直接水田に種子を播く「湛水直播」と株間を広げる「疎植」の実証栽培を行い、結果として、収量の確保と田植え作業の省力化ができました。この成果を活かすため、本格的に導入するには播種の機械等が必要で、町の資金支援を期待しています。

令和７年度歳出
59億6015万円

■森議員：一般会計の実質収支額は約3億6千万円で良いことだ。しかし、民生費は地方創生臨時交付金を活用した結果だと言うが、前年度に比べ約850万円減となっており、高齢者福祉が気になる。

■野田議員：住民の皆さんと共に健康づくりをすすめ、子育て支援にも力を入れている。環境に関する施策も現在進行中だが、進んできている。

■清水議員：ふるさと納税は、まだ減少のまま。提供産品の拡充や企業版ふるさと納税制度に積極的に取り組み、納税額増加につながる努力を求めたい。

■関根議員：決算は特に問題ない。しかし、義務的支出と裁量的支出が不明確で判断が難しい。結構な不用額が残り、結果論だが、民生費などの他予算へ回せたのではないかと思った。

■石井計次議員：町の貯金「財政調整基金」において、令和元年度からは4倍近くの約8億円に増加。財政健全化への成果として評価できる。

令和7年度
決算

町の予算はどんなことに使われてた？
～町民の皆さんに



横谷ご夫妻

防犯対策経費：防犯センサーを町の補助を利用して購入しました。空き巣事件が多発したこともあり、地域の安全安心のためにもよかったです。

全町公園化推進費：生ごみキエーロの実証実験に参加。生ごみを可燃ごみに出さなくなりました。お花を植えるのにも、この土を使っています。お友達にも勧めています。



辻本 郁子さん

卯月 周さん　益子 夏偉さん



公園費：今宿第3公園に新しい遊具設置
ぼくたちが小さい時に、こんなきれいな遊具があったら、うれしかったな。この公園で、よく遊んだよ。

■小鷹議員：水道事業は、長い間、料金改定が進まず厳しい運営となったが、今後の財政健全化や施設更新などを期待する。

■松浪議員：実質収支約3億円の黒字。財政力指数0.494、経常収支比率90.5% と、改善したことは評価する。今後も健全な財政運営、財源の有効活用、町民サービスの充実、将来への投資を期待する。

■石井徹議員：公債費や高齢化対策など義務的経費が減少せず、将来課題に備える歳入確保策の構築が急務である。

令和７年度歳入
63億2965万円

■日坂議員：一般会計は前年度比較で、経常収支比率や将来負担比率の低下、町債残高の減少が見られ、財政健全化の推進が評価できる。水道事業は毎年の純損失が心配される。

■中山議員：財政運営は厳しいが、町債残高削減計画に基づいて、努力されたことは評価したい。

提出案件は報告を含め26件、条例の制定に関するもの4件、指定管理者に関するもの1件、令和7年度一般会計、特別会計及び企業会計に関するもの6件、水道事業会計及び下水道会計の未処分利益剰余金の処分に関するもの2件、令和8年度一般会計、特別会計等の補正予算の議定に関するもの5件、工事請負契約に関するもの1件、町道の廃止に関するもの1件、人事案件に関するもの1件、すべて可決、承認、同意されました。また、請願が2件、意見書2件、議員提案条例1件が提出され採択されました。

鳥獣被害対策

問：鳥獣被害対策実施隊員報酬が19万円から23万円に増額されているが、その理由は何か。

答：実施隊員が2人増のため、年額支払い分が増加した。

問：アライグマ回収・処分業務委託料の337万円だが、業務単価、地域別捕獲量と講習会の参加人数を伺う。

答：回収・処分・廃棄・わな洗浄等の業務で1頭あたり1万4300円、死亡していた場合、回収・廃棄・わな洗浄等の業務は7700円となっている。捕獲地区は赤沼（68頭）、石坂（43頭）、泉井(25頭)、下熊井（25頭）の合計で161頭。全町内合計で223頭。
令和7年度の講習会へ町から7人が参加している。



討論（一般会計決算）

【賛成討論】

経常収支比率92.1%⇒90.5%へ、町債残高は約57億円⇒約53億円へ改善され、実質公債費比率・将来負担比率も減少できた。

限られた財源で事業の選択と集中を進め、持続可能な財政運営を行っており、将来世代への負担軽減という観点からも評価できる。（日坂）

令和7年度 特別会計 決算 審議

国民健康保険特別会計

問：国民健康保険税の収入未済額が3900万円とかなり大きい金額であるが、町としての改善策はいかがか。

答：税務会計課の収税担当正職員2人、会計年度任用職員1人の3人体制と限られたマンパワーで、適正な滞納処分等の実施により滞納額の縮減に努め、早期の財産調査及び差押えなどによる滞納処分の強化を図っている。

介護保険特別会計

問：介護保険特別会計の配食サービス事業委託料57万円だが、前年度64万円と比べて、減少の理由は何か。

答：利用者の都合による配食のキャンセルが多かったこと、それから利用者が施設へ入所したため、配食サービスの必要がなくなり、利用しなくなったことなどにより減少した。



■審議結果については8ページをご参照ください。

令和8年9月1日～11日

9月議会（第3回定例会）報告

令和7年度 一般会計 決算 審議

財政調整基金

問：財政調整基金の活用する事業が多く見込まれる中、適正な残高はどの程度を目標としているのか。

答：令和6年策定の財政運営基本方針で、令和11年度決算時に標準財政規模に対する財政調整基金残高の割合を15%以上確保することを目標とし、令和7年度決算の残高は約8億2957万円で、15%を上回る19.9%確保している状況。

固定資産税

問：固定資産税の収入未済額が1969万円、不納欠損額が368万円と金額が大きいが、改善策はいかがか。

答：滞納の発生の早期から財産調査、各種債券、動産・不動産などの調査を実施して、滞納者の実態把握に努めて、預金調査、預金差押えの電子化サービスを活用して、早期の財産調査及び差押えなどによる滞納処分の強化を図っている。

住宅等防犯事業

問：住宅等防犯対策事業が2事業で350万円となっている。補助金申請の多かったものは何か。

答：補助金対象品目では、防犯カメラ、モニターつきインターホン、人感センサーライトが多かった。

老朽空き家等除去費

問：老朽空き家の除去の補助金申請により、予算を使い切ったようだが、申請数がオーバーして補助金をもらえない申請者がいたのか。

答：当初の予算では4軒分であったが、申請が6軒あり、補正予算で100万円追加し、申請者全員に補助金を渡すことができた。



産後ケア事業

問：産後ケア事業業務委託料19万円で、前年度比4倍増だが、利用者の増えた要因は何か。

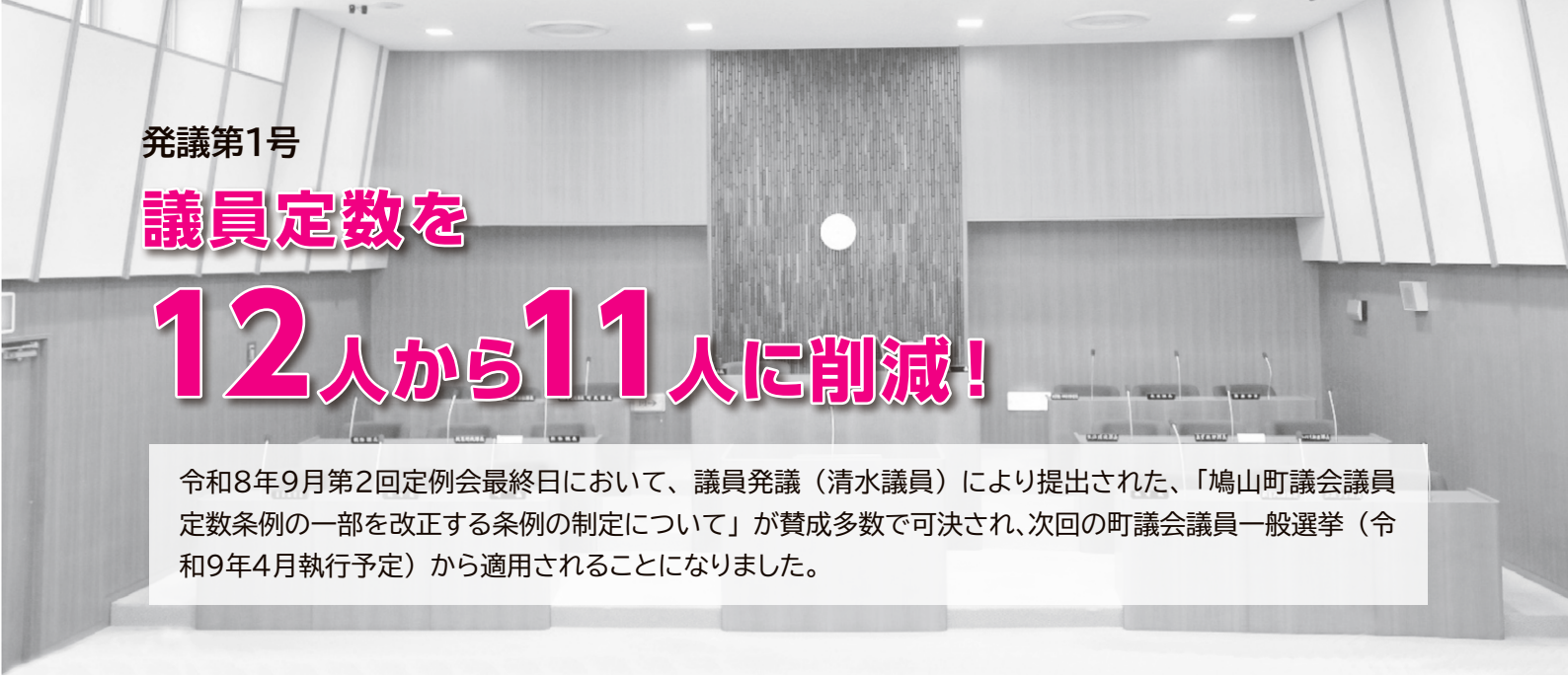
答：広報や子ども家庭センター等による案内を通じて、事業の周知が進み、産後のお母さんのニーズに合わせた多様なケアサービスが、実際に広く活用されたことが主な要因と考えている。



放課後児童健全育成事業

問：放課後児童健全育成事業業務委託料の8100万円に関してだが、おしゃもじ山クラブの児童数はどうだったのか、また適切な保育環境であったのか伺う。

答：令和7年度の在籍児童数は延べ970人、月平均81人となっている。夏休み期間中の保育環境が課題であったが、事前に利用数を確認し、必要な指導員を配置した。



発議第1号

議員定数を12人から11人に削減！

令和8年9月第2回定例会最終日において、議員発議（清水議員）により提出された、「鳩山町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について」が賛成多数で可決され、次回の町議会議員一般選挙（令和9年4月執行予定）から適用されることになりました。

提案理由

将来を見据えた財政の見通しや人口減少の推移、議会運営上の支障等の面から十分な議論を尽くした結果として、意見の相違が見られたところであるが、9月に議員定数を削減とする方向で大筋の合意形成がされました。議員定数を1人削減したとしても、現在運用しているタブレット端末を活用した資料共有、事前の情報収集の効率化、委員会での専門的審議の充実などにより、議会としての監視機能・政策立案機能・住民意思の反映機能は十分に確保できるものと判断しました。

討論

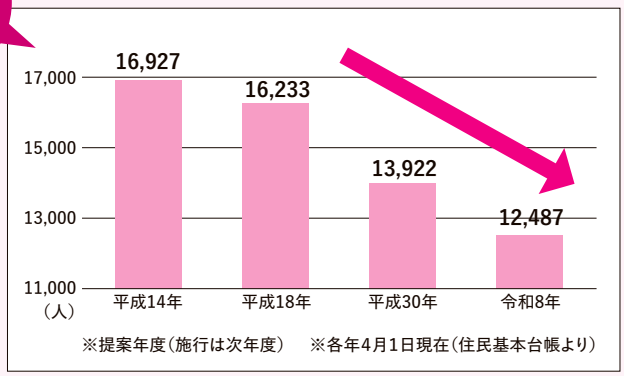
【反対討論】

多様な意見を代表して成り立つのが議会と考える。今後、議会の質を維持し、新メンバーを参加しやすくするためには、削減せずに現状のままにしていくべきと考える。従って議員数削減案には現時点では反対。　（関根）

採決結果

賛成…８人　　**反対…１人　により可決**

人口と議員定数の推移



※提案年度（施行は次年度）　※各年4月1日現在（住民基本台帳より）

平成14年⇒18人から16人（2人減）

平成18年⇒16人から13人（3人減）

平成30年⇒13人から12人（1人減）

令和９年⇒12人から11人（1人減）

意見書3件を可決し、国へ提出

発委第2号

殺傷能力のある武器の輸出禁止を求める意見書

賛成多数
（賛成6、反対3）

【反対討論】

国政に関する議論は国政選挙で示せばよい。国政が町に関わるのなら請願の意味があるが、町議会議員は、まず町の課題に取り組むべきだと考える。（関根）

この請願は国の安全保障政策に関わるため、町の判断範囲を超えており、本町の行政運営や地域産業との関連性も明確でなく、国への提出には反対。（石井徹）

日米安保条約のもと、侵略や武力衝突を抑制し、世界の平和と安全確保のためには、同盟国への防衛装備品提供による防衛力強化協力は必要だと考える。（森）

【賛成討論】

目的外使用や第三国への再移転を完全に防ぐことは難しい。殺傷能力の高い武器の輸出には、厳格な歯止めが必要である。（中山）

日本国憲法のもと、国際紛争を助長しないよう厳しい自制を続けてきた。輸出した武器により無辜（むこ）の民が殺傷されることに痛みと憤りを覚える。（野田）

武器輸出によって他国の人々の命を奪うことは、憲法の平和理念に反する。鳩山町は平和都市宣言を掲げる町として、武器輸出容認の撤回を強く求める。（清水）

発委第1号

ゲノム編集食品の表示義務化を求める意見書

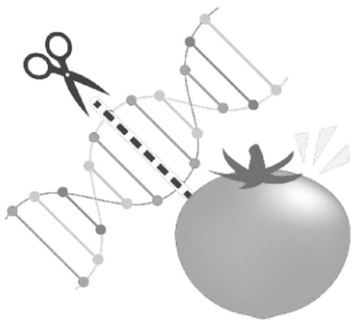
賛成多数
（賛成8、反対1）

【賛成討論】

罰則を伴う義務化を求めるものではなく、情報提供の充実や、将来的な制度の検討を国に求める内容であり、科学的知見と消費者保護の両立を図るものである。（中山）

消費者の手元には、それと分かる情報が何も届いていない。これは、消費者基本法が保障する「知る権利」「選ぶ権利」の実質的な欠落である。知らされずに選ばされる現状を、これ以上黙認はできない。（野田）

食品表示義務のないゲノム編集食品に消費者は不安である。消費者にも食の安全を知る権利・選ぶ権利はあるはず。町民の食の安心安全を守る立場で、全てのゲノム編集食品について表示を義務化することの意見書に賛成。（清水）



発議第2号

米国政府による国際刑事裁判所（ICC）所長などへの制裁に抗議し、法の支配に基づく国際秩序と我が国出身のICC関係者を守ることを求める意見書

全会一致

【賛成討論】

大国の横暴に対し、日本政府に制裁の解除を期待しても、日本政府には力がないのが現状。従って、ICC赤根所長らに対する制裁の解除については、人道的な立場での意見書とみなして賛成。（関根）

日本はICCの締約国であり、最大の拠出国として、その独立性を支えてきた。同盟国との対立を目的とするものではなく、国際司法の独立性と「法の支配」を守るという日本の基本的立場を明確にするものである。（中山）

ICCは集団殺害犯罪、人道に対する犯罪、戦争犯罪を裁く国際刑事司法の中核である。その裁判官や職員が、法を適用したがゆえに制裁を受けることは、許されることではない。日本政府は赤根所長、ICCを守るべき。（野田）

日本はICCの主要な加盟国として、日本政府は従来の主張どおり、「法の支配」を強調し、ICC及び赤根所長を支持する立場を明確にして、「国際的な『法の支配』の終焉の始まり」を防ぐ行動を直ちにとるべきである。（清水）

※意見書の内容は、各二次元コードよりご覧ください。

令和８年第２回臨時会　審議結果

「私たちは賛成・反対しました」

全議員が賛成した議案		
町長提出	地域包括ケアセンター条例の一部改正	令和8年一般会計補正予算（第2号）の議定

令和８年第３回定例会　審議結果

「私たちは賛成・反対しました」

全員賛成の提出議案			
町長提出	組織改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	町長提出	令和7年度下水道事業会計決算認定
	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正条例の制定		令和7年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
	認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定		令和8年度一般会計補正予算（第3号）の議定
	税条例の一部を改正する条例の制定		令和8年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の議定
	地域包括ケアセンター（デイサービスセンター）の指定管理者の指定		令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の議定
	令和7年度一般会計歳入歳出決算認定		令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）の議定
	令和7年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		令和8年度下水道事業会計補正予算（第2号）の議定
	令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		工事請負契約の締結（町道第52号線外道路改良工事（第二工区その2））
	令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定		町道第2535号線の廃止
	令和7年度水道事業会計決算認定		教育委員会委員の任命
	令和7年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	議員提出	米国政府による国際刑事裁判所（ICC）所長などへの制裁に抗議し、法の支配に基づく国際秩序と我が国出身のICC関係者を守ることを求める意見書案（提出者：石井計次議員）

○は賛成　●は反対　議は議長

賛否の分かれた提出議案		議員氏名										審議結果
		関根清隆	石井徹	中山明美	日坂和久	小鷹房義	森利夫	野田小百合	石井計次	清水秀幸	松浪健一郎	
請願	ゲノム編集食品の表示義務化を求める意見書を国に提出することを求める請願（紹介議員：野田議員）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議	原案可決
	殺傷能力のある武器の輸出禁止を求める意見書提出を求める請願（紹介議員：野田議員）	●	●	○	○	○	●	○	○	○	議	原案可決
議員提出	鳩山町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について（提出者：清水議員）	●	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
委員会提出	ゲノム編集食品の表示義務化を求める意見書案（提出者：日坂議員）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議	原案可決
	殺傷能力のある武器の輸出禁止を求める意見書案（提案者：日坂議員）	●	●	○	○	○	●	○	○	○	議	原案可決

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

教育委員会委員に　伊藤　絵里子氏

教育委員会委員の任期満了に伴い、伊藤絵里子氏（赤沼在住）を再任することについて同意しました。



町の産業振興

問「鳩山に来たくなる理由」創りを

答 引き続き研究・検討をしていく

日坂 和久 議員



鳩山に来たくなる理由を創ろう

産業間連携による振興・活性化

問 町の第三次産業振興・活性化のために、町が取り組んできた周辺環境整備は何か。

答 土地利用では、「ちょっくま」や泉井交流体験エリアの拠点活用で、飲食・物販・観光・交流等の需要を生み出し、消費拡大につなげた。創業支援では、商工会を窓口に経営・財務・人材育成・販路開拓等の事業支援、マルシェにて創業支援・環境整備を進めた。公共交通では、デマンドタクシーを運行し、生活拠点と商業施設等を結ぶ移動手段を確保し、人の流れを支えた。

問 町は町の産業基盤が弱いと捉え、改善することを課題としている。その取り組みも既に実施されていると思うが、近隣自治体と類似・同様の場合、鉄道・道路・観光資源等の整備度合により、人を呼び込む魅力に差異が生じる。町民の皆さんの生活利便性向上が大切と同時に、町への来訪者を拡大させ経済活動をする環境整備が重要だ。人々が「鳩山に来たくなる理由」をつくる取り組みを行っているのか。

答 活性化策は複数実施している。

問 マルシェ、ちょっくま等を目的に来訪しても町の回遊につながるか疑問だ。点から線、線から面へつなげるべきでは。

答 指摘の通りだ。今後の面的整備にて来訪者拡大につなげたい。



東京圏をターゲットにした日帰り旅行の最適地に

町政を問う!
一般質問

定例会において各議員が政策提言しています。議会としてどのような質問・提言がなされているか、項目別に分類しました。
議員名にマーカーがついている記事が掲載されています。
議員名の二次元コードから、すべての質問項目の音声配信が聞けます。

福祉・健康

高齢者対策	関根
総合相談業務	石井計次
国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険	森
予防接種	野田・清水

子育て・教育・文化

史跡南比企窯跡	日坂
中央公民館	石井計次
幼稚園	小鷹
指定文化財	小鷹
英検補助	中山
小・中学校図書館	清水
不登校児童・生徒	清水

くらし

交通安全計画・地域公共交通計画	日坂
空き家対策	石井計次
辻川整備工事	森

町の活性化

町の産業	日坂
官民連携協定	石井徹
地域おこし協力隊	石井徹
あんず	小鷹

その他

スマート町役場	関根
予算編成	関根
地震災害・熊本地震	石井徹・中山
クビアカツヤカミキリ	石井徹・小鷹
ふるさと納税	石井計次・清水
町民との対話	野田

令和8年熊本地震

問 代理寄附制度による支援の経緯は

答 発災翌日に臨時課長会で決定

石井 徹 議員



迅速な支援を
評価します

令和8年熊本地震への対応

問 熊本地震発生後の代理寄附の実施目的は。

答 被災自治体の業務負担軽減を目的として代理寄附を開始した。

問 なぜ宇城市と氷川町を支援先に選んだのか。

答 今回の熊本地震で最大震度7を記録した両自治体を支援先として選定した。

問 今後の災害支援体制について町の考えを伺う。

答 相互応援協定や広域連携を通じて災害支援体制の強化に努める。

官民連携協定の締結

問 「熱意ある地方創生ベンチャー連合」及び「株式会社マクニカ」との包括連携協定の具体的な事業計画はあるのか。

答 現時点では両企業とも具体的な事業計画はない。ベンチャー連合では、人口減少や地域活性化などの課題解決につなげたい。また、マクニカとの連携では、DX推進や生成AI活用による業務効率化、町民サービス向上を目指していく。

問 株式会社マクニカは、茨城県境町をはじめ多くの自治体で自動運転バスの実証や導入支援を行っている。本町でも自動運転バスの導入を検討するのか。

答 地域公共交通計画で自動運転システムを調査研究としており、先進自治体の取組を調査研究していく。



ふるさとチョイス掲載代理寄付受付案内

安否確認と緊急通報

問 一人暮らし高齢者の安否確認を

答 情報を収集し研究を進める

関根 清隆 議員



元気なうちに
緊急通報の準備を！

高齢者の安否確認・緊急通報

問 一人暮らし高齢者の安否確認と緊急通報は喫緊の課題だ。町の対応状況はいかがか。

答 一人暮らしの高齢者は約1300人。町は「緊急通報システム」を提供している。これは体調不良時に緊急ボタンを押すとガードマンと救急車の要請ができる。利用者は80人。費用は月1000円から3000円くらいで、費用の不足分は町が負担する。

問 より多くの人に安く利用してもらいたい。初期費用2万円弱で月々 440円のものや、緊急時にペンダントを押すと警察や救急へ発信できるアプリもある。スマホも機能がある。検討してみないか。

答 それら緊急通報機能のシステムは著しく進歩しており、選択肢も増えたので、町としても情報収集・研究をしていく。

スマート町役場

問 町のLINEで、町民からの登録や申請を役場に行かなくてもLINEから入力できるような取り組みがある。また、申請の仕方や町民に説明すべき事項について、YouTubeを作って観てもらうことで理解をしてもらうこともできる。これらを提案するがいかがか。

答 町のLINEには現在2000人以上の方に登録してもらっている。スマート町役場は現行のシステムとの整合性を含めて研究していく。

緊急通報機器(例)



辻川整備事業

問 整備事業が完了した後の管理は

答 上熊井地区や委託事業者等が考えられる

森 利夫 議員



高齢化が著しく、地元での管理は無理だよ！

辻川等整備工事

問 東山沼遊歩道工事について概要を伺う。

答 堤体を除く池の外周に、遊歩道を整備する事業で遊歩道は透水性コンクリート舗装とし、転落防止柵を設置すると共に、南側には休憩用ベンチ等を設置する計画である。このほか雑木等の伐採や剪定、桜やイロハモミジの植栽も計画している。

問 遊歩道の幅を伺う。

答 透水性舗装をして、2メートル幅を確保する。

問 沼への流れ込み部分にヒューム管が1本埋設されているが、遊歩道の整備位置とズレがあるように思う。事実であればヒューム管の位置調整は可能なのか伺う。

答 支障があれば、内容を精査して変更等を行う。

問 沼の土手にある桜の木が、クビアカツヤカミキリの被害を受けている。対応を伺う。

答 町、施工業者、樹木医、地元の皆さん等の立会いのもとで、伐採や剪定をする桜の木を判断する。

問 辻川等整備事業が完了した後、工事区域の管理はどのようにするのか伺う。

答 産業振興課と調整したい。管理方法として、地元である上熊井地区や「ちょっくま」の指定管理者、委託事業者等が考えられる。



クビアカツヤカミキリ被害を受けた桜の木

代執行は首長の決断

問 廃屋の早期解消を

答 スピード感をもって対応する

石井 計次 議員



この廃屋、いつまで放置？これ以上の先送りダメでしょ!!

庁舎北側の廃屋、代執行の決断を

問 廃屋について今回も取り上げさせていただく。権限（決断）の一切は町長にあり、行政代執行は可能と思うがいかがか。

答 市町村長の判断で実施することは可能。

問 実施にはどのような準備が必要か伺う。

答 代執行令証の発行、従事職員への研修、責任者証の発行、警察・消防への対応依頼、執行本部の設置を行い、代執行の開始宣言・実施となる。

問 スピード感を標榜する町長に伺う。

当該廃屋の存在については、私のみならず多くの方も違和感以上のものを抱いている。代執行に踏み切れないか伺う。

答 私が町長を10年前からやっていたら、もう間違いなく対応できた。今後、県・弁護士等とも相談し、相手側から訴えられない形でやって行く。

中央公民館の敷地内の美観

問 大木から横に大きく伸びた枝・植栽がひどい状況だが管理状況を伺う。

答 指摘のとおり現在は良好な状態ではない。適切な管理経費を精査し検討したい。

問 町長にも現地確認の上、予算確保はいかがか。

答 研究し予算化が図れればと考えている。



管理経費の適正化を!!

クビアカツヤカミキリ

問 いつから繁殖が始まったのか

答 日本には12年前ごろやって来た

小鷹 房義 議員



この虫は手強いぞ。
何とかせねば!!

クビアカツヤカミキリの被害

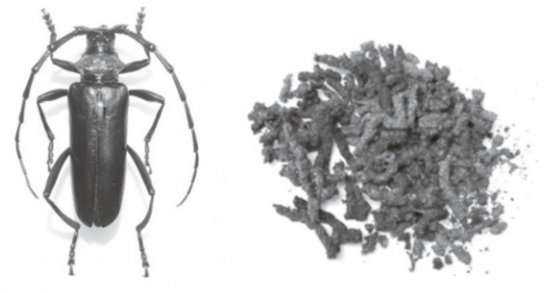
問 鳩山町での被害状況はどのようか伺う。

答 本町では、竹本地区、泉井地区、熊井地区、鳩山ニュータウン地区、石坂地区での被害が確認されている。その後の情報提供は、昨年が15件、今年は8月21日現在で、すでに59件の情報があった。

なお、本年度からは駆除していただいた方に、10匹につき、500円相当の商品券を交付している。

問 あんず栽培について、確実な予防方法があるのか伺う。

答 現時点では確立されていないが、樹木の根元にフラスと呼ばれる木くずが発見された場合は、被害蔓延防止のために、速やかに捕殺することが重要。



クビアカツヤカミキリとフラス
提供：埼玉県環境科学国際センター

幼稚園教育

問 園児をどのように育てているのか伺う。

答 教育目標として「生き生きとかがやいている子」を掲げ、遊びを通して心と体の発達の基礎を培い、園児のやってみたいという意欲を育んでいる。

また、見たり触れたり、実際にやってみたりする生きた体験を大切にし、様々な体験を通して園児の好奇心や挑戦する気持ちを引き出すことを心掛けている。

予防接種

問 副反応等についても情報提供を

答 接種判断の一助として充実させる

野田小百合 議員



副反応は誰に起きるか
分かりません

新型コロナワクチン

問 5類移行後の接種状況は。

答 令和3年9月時点の特例臨時接種（65歳以上）では、1回目接種率94.2%、2回目93.1%と極めて高い水準だった。しかし定期接種移行後は、全国的にも20%程度にとどまるなど大幅に減少している。

問 厚労省公表の健康被害救済制度の審議状況と当町における副反応被害の申請事例はあるか。

答 直近の厚労省審査会（令和8年8月7日時点）の全国累計では、受理1万5547件に対し認定9496件、否認4830件、保留21件。認定のうち死亡一時金・葬祭料支給は1078件、障害年金は223件。町としても全国累計の死亡認定1000件超は過去10年の定期接種と比べ、極めて多い数字と認識している。当町では特例臨時接種期間に1件の認定事例がある。

問 ワクチン接種を立ち止まるべきではないか。

答 安全性に対する懸念は認識している。安全性の検証や評価、接種判断は国が行うべきもの。町は国の動向を注視し、適切な情報提供と安全な接種体制の確保に努める。

※ほかにHPVワクチン、RSワクチンについても質問しています。



65歳以上と60歳以上の重い疾患のある方が定期接種対象

インフル予防接種

問 子どもにワクチン接種の助成を

答 令和9年度予算で協議・検討する

清水 秀幸 議員



受験生よ、
インフルに負けるな!

問 周辺自治体の子どもインフルエンザ予防接種費用助成制度の取り組みの状況は。

答 現在、滑川町と川越市は接種費用の助成は行っていない。他の市町村では、助成対象者と助成費用の違いはあるものの、子どもへのインフル予防接種費用の助成は行っている。

問 予防接種費用の助成について町の考えは。

答 助成制度は継続して事業を展開していくべき性質のもので、制度を安定的に維持していくためには、将来にわたる財政負担を慎重に見極める必要がある。令和9年度予算編成方針に基づき、助成について政策財政課と協議、検討を重ねる。

問 前回、財政担当と検討するとの答弁だったが、今回結果として一般財源がないということか。

答 本事業は国や県からの補助金といった特定財源がなく、財源の全額を町の一般財源で賄わなければならない。そのため、限られた一般財源を既存の福祉施策や教育環境の整備、あるいはインフラの維持管理など、多岐にわたる行政需要の中で、どのように優先順位をつけ配分すべきかとの観点から、慎重に見極めを行っている。

答 町長に就任してから毎度、各自治体が、医療機関の中でどのような事務手続をやっているのかという所も研究して進めていきたいと考えている。



安心と子育て支援の町に!!

英語検定

問 英語検定試験に補助を

答 直ちに導入する考えはない

中山 明美 議員



せめて準会場に
なってほしい

問 鳩山町の小中学生の英語検定取得状況は。

答 英語検定の準会場としての受験を実施しておらず、取得状況については、教育委員会として把握することが難しい状況。

問 鳩山町で英語検定受験料の補助を導入する考えはあるか。

答 教育環境の整備や学力向上など、限られた財源の中で優先して取り組むべき課題もあることから、直ちに導入する考えはない。

問 優先して取り組むべき課題は何か。

答 GIGAスクール構想に基づき整備した1人1台端末の更新や維持、校務支援システムの更新及び教職員が使用する端末の更新、普通教室等の空調設備の更新など計画的に対応等を行う。

問 英検3級の場合は、本会場6800円、準会場4900円。
補助がないにしても、鳩山中学校で英語検定を受けることはできないか。

答 鳩山中学校が準会場となるかどうかは、学校の判断としたい。



小学生も受験しています
英検（実用英語技能検定）HPより

常任委員会レポート

福祉文教委員会

事務作業を軽減し、子どもと向き合う時間をより確保

令和８年7月30日、所管事務調査を行いました。

調　査　事　項

ひばりゆりかご保育園で現地視察をさせていただき、ひばり保育園、ひばりゆりかご保育園（6か月～3歳未満の保育）の取組状況の説明を受けました。

保育業務の効率化の取り組みについて

昨年度、国の補助金を活用し、ひばり保育園・ひばりゆりかご保育園にICT化推進を目的とした補助を交付したことにより、連絡帳等のデジタル化が進みペーパーレス化を実現しました。事務作業が軽減され、保育士が子どもと向き合う時間をより一層確保することができました。また、午睡センサーとの連動により昼寝中の呼吸チェックが自動化され、負担軽減にもつながっています。

保護者はアプリで欠席連絡ができ、写真付き連絡帳で園の様子を把握しやすくなりました。不審者情報や災害時の緊急連絡もプッシュ通知で即時に届く体制を整備し、さらにキャッシュレス決済の導入により集金袋の受け渡しが不要となり、クラス便り等をPDF配信することでペーパーレス化も進んでいるとのことです。0歳児からの記録が蓄積され、卒園時の指導要録をデータで作成できるようになるようです。

こども誰でも通園制度について

今年度から開始された制度で、保育園等を利用していない6か月～3歳未満の子どもが利用できます。当町ではひばりゆりかご保育園が登録施設として対応しており、子ども一人につき月10時間まで利用可能で、利用料は1時間あたり300円です。保護者が申請後、発行されたログインIDで「つうえんポータル」に登録することで希望施設を利用できます。



総務産業委員会

防犯灯等LED化工事の進行・準備計画、受注業者が決定される

令和8年7月22日、所管事務調査を行いました。

調　査　事　項

防犯灯等LED化について

工事の進行計画及び工事準備の進捗度合、受注者側の業務分担等について、現時点では、防犯灯等LED化への一括更新に伴う調査を行うためのシステム整備などの事前準備を行っており、7月下旬から現地調査と電力契約の照合や電灯等の機種選定を行います。その後、9月から12月を目途に防犯灯等のLED化工事を行います。

当該事業は、設計等を岩崎電機株式会社、工事等を東上電設株式会社、維持管理等を福島電気株式会社が担当する予定であり、3者が受注者となっています。

委員から、対象となる防犯灯は何基かの問に対し、1646基との回答がありました。また、受注業者間の配分金の調整はできているのかとの問に対し、各々が合意しているとの回答がありました。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した町の支援事業について

町では住宅敷地内に設置する防犯カメラの購入費用を補助します。

今年4月1日から11月30日までに購入したもので、交付回数は一住宅1回、4万円を上限とします。委員から、今回の補助事業で想定される予算額の問に対し、400万円との回答がありました。



一部事務組合議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

広域静苑組合

8月10日、全員協議会及び第2回定例会が行われました。

令和7年度広域静苑組合一般会計歳入歳出決算認定について、管理者より説明があり、本会議にて全員一致で認定されました。

決算の概要は、令和7年度の歳入が2億5719万円、歳出は2億4244万円で、差引残高は1475万円となりました。

決算の特徴としては、前年度に比べ、火葬件数減少により、歳入が減少となりました。また、歳出では、火葬炉設備修繕工事、備品買い換え等の支出がありました。公債費償還は、前年度比で若干の減額となり、6404万円の償還を行い、公債費残高は11億944万円となりました。

斎場整備基金として1406万円を積み立て、令和7年度末残高は7494万円となりました。

西入間広域消防組合

8月7日、第2回定例会が開催されました。

提出された議案は、条例改正2件、令和8年度一般会計補正予算1件、令和7年度一般会計歳入歳出決算認定1件、財産の取得2件の合計6件で、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決認定されました。

決算認定では、歳入13億6573万円、歳出は13億3817万円で、鳩山町の負担金の割合は26.15%で3億2093万円でした。

また、補正予算は、歳入歳出それぞれ1686万円を増額し、予算総額は13億5975万円となりました。

坂戸地区衛生組合

8月6日、第2回定例会が開催されました。

今議会では、「令和7年度坂戸地区衛生組合一般会計歳入歳出決算認定について」の1議案が提出され、慎重審議の結果、原案どおり認定されました。

令和7年度決算は、歳入総額3億6397万円、歳出総額3億4284万円となりました。

決算の主な内容としては、し尿及び浄化槽汚泥の搬入量が3万6000キロリットルとなり、施設の維持管理では、破砕ポンプや前処理機の修繕をはじめ、計9件の修繕工事を実施するなど、安全で効率的な施設運営に努めました。

鳩山町の令和7年度分担金・負担金は3427万円でした。

毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

8月12日、第2回定例会が開催されました。

提出された議案は、令和7年度下水道組合事業決算認定等の3件で、全て原案の通り可決されました。

経営状況の収益的収入及び支出については、収入額15億7862万円に対し、支出額15億1476万円となりました。その結果6386万円の純利益が生じました。

資本的収入および支出については、収入額6億443万円に対し、支出額7億4380万円となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額、1億3937万円は、当年度分損益勘定留保資金1億3091万円及び減災積立金846万円で補填します。

鳩山地内では、繰越事業である鳩山第2中継ポンプ場耐水工事を実施しました。

埼玉西部環境保全組合

8月5日、第2回定例会が開催され、すべての議案は賛成多数および全会一致で可決、認定されました。主な議案は令和7年度一般会計歳入歳出決算認定です。収入済額 32億 2662万円、支出済額は 31億1777 万円でした。

修繕料は 6445 万円、委託料は11億5995万円、工事請負費は8億6690万円で、そのうち高倉クリーンセンター解体工事は8億6073万円でした。

鳩山町の負担金は 2億 3923 万円です。

ごみ処理量は家庭系ごみ 2万7254t、事業系ごみ 6890t、計3万4144tで、1079tの減でした。

また鳩山町のごみ量は、町および町民の皆様のご努力があり、かなり減量化が進みました。埼玉クリーンセンターの排ガスダイオキシン類測定値が令和7年7月から9月まで自主基準値を超過しましたが、10月には基準値未満に改善されました。自主基準値超過を是正するために、脱硝反応塔の触媒交換、ろ過式集じん器のろ布交換など実施し、再発防止対策も講じられています。



ご意見・ご感想ありがとうございました!

●議会傍聴アンケート

新聞折込がなくなったので一般質問が事前につかめなくなった。広報に折り込んだらどうでしょうか。

一般質問が同じことの質問が多い。学校図書館司書についてはしっかり研究してほしい。（70代以上）

※一部省略して掲載しています。ご意見等を参考にさせていただき、議会活動に取り組んでまいります。



シリーズ いま、それ、気になるHATOYAMA vol.12

鳩山町のケアマネジャーさんに伺いました
～鳩山町の介護の現状と課題について～

○どのくらい経験されていますか？
- 実務経験は、それぞれ3年から18年。
- 看護師、障害福祉、IT関係など、さまざまな経歴です。

○ケアマネジャーの役割と現在の状況は？
- 主な役割は、利用者や家族と医療・介護サービスをつなぐ「橋渡し役」。
- ケアプランの作成、サービス事業所との調整、給付管理などを行い、利用者の生活全体を支える役割を担っています。

○ケアマネジャーとしての現状は？
- 1人で40人程度、多い場合には60人近くを担当することもあります。
- 入院中の利用者への対応や、緊急時の支援、介護保険制度だけでは解決できない生活上の相談など、本来の業務範囲を超えた対応もあります。

○鳩山町の介護を取り巻く課題は？
- 在宅生活を支えるためのサービスや地域の支援体制の確保が大きな課題。
- 町内の訪問介護事業所が閉鎖されるなど、在宅生活を直接支える介護人材やサービス資源の不足が懸念されています。
- 介護保険サービスでは対応できない本人分以外の買い物、庭の手入れ、通院時の付き添いなど、日常生活のちょっとした困りごとへの支援も必要です。ひとり暮らしの高齢者にとって大きな課題となっています。
- 高齢者が交流できる場が減っていることから、外出や人との交流の機会をどのように確保していくかも課題です。

○町行政との連携は？
- 役場担当者に相談しやすく、利用者の状況について情報共有がしやすいことや、相談への対応が比較的早いことなど、日頃から行政と連携しながら支援を行っています。





○これからどのような取り組みが必要？
- 介護保険サービスだけですべてを支えるのではなく、地域にあるさまざまな力を活かして、高齢者の生活を支える仕組みづくりが必要です。
- 買い物や受診の付き添い、電球交換など、介護保険では対応しにくい「ちょっとした困りごと」を支援する取り組みです。
- 元気な高齢者が地域の支え手として活躍できる仕組みや、現在行われている介護支援ボランティアをはじめとした、地域活動をさらに活かしていくことも考えられます。

次回定例会は11月27日から開会（予定）

■請願、陳情は11月16日17時までに提出してください。

第174号編集委員

委員長　関根　清隆
委　員　野田小百合
委　員　森　利夫
委　員　日坂　和久
委　員　中山　明美
委　員　清水　秀幸

編集後記

（関根）

はとやま議会だより　No.174
（令和８年11月１日発行）
※画像の転載、複製、改変等は禁止します。
編集：鳩山町議会 議会だより編集委員会
〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸184番地16
TEL 049-296-1213

鳩山町議会ホームページQRコード
議会へのご意見等はこちらから!